

放課後等デイサービス自己評価表 (事業者向け)

キッズ・あいびい～Ⅲ

公表： 2025 年 2 月

株式会社 ニューズ

実施月： 2025 年 1 月

調査人数： 7 名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		
業務 改善	4	業務改善を進めるための P D C A サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	5	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	6	1		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	1	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか		5	2	
	23	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3		
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか	7			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	4	
保護者への説明責任	30	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	6	1		
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	35	個人情報に十分注意しているか	7			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	1	
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	40	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画等に記載しているか	5	1	1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	1	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		

放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け）

事業所名	キッズ・あいびいⅢ
------	-----------

ご意見・改善目標
【⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。】 ・ 第三者による外部評価は任意の為、弊社では実施しておりません。 職員の間で認識の違いがあったため、確認を行い、認識の統一を図りました。 【⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。】 ・ 弊社独自のアセスメントシートを使用しております。 専門機関で検査を受けられた場合は保護者の方からその検査結果のコピーをいただき、支援に活用させていただいております。 【⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。】 ・ 子どもの状況や興味に応じて、それまでに扱ったことがないおもちゃの使用を勧めたり、活動の提案を行っています。 引き続き、子どもたちが好きなことや興味の幅を広げながら成長できる活動や環境づくりに努めます。 【⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。】 ・ 預かり時間が長くゆとりがあるときには、積極的に商業施設や公園等への外出を取り入れています。 【⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。】 ・ 特に気になる点、引き継ぐべき事案については漏れのないよう伝達しており、それをより効率的に行うためのデジタルツールを併用するかたちで取り入れようと計画し、試験運用を開始しています。 【⑯ 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか。】 ・ 支援開始前の打ち合わせと同様に、デジタルツールを併用するかたちで取り入れようと計画し、試験運用を開始しています。 【⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。】 ・ 各相談支援事業所の方法に合わせて、子どもの状況をお伝えするなど、情報共有を行っています。 【㉑ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか。】 ・ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れていません。 【㉒ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。】 ・ 夏祭りや芋掘りなどのイベントに保護者の方や兄弟、姉妹の方も参加していただける機会を設けています。 【㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。】 ・ 事業所でペアレント・トレーニングは行っておりません。 【㉔ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。】 ・ 芋掘りなどのイベントを行う際、春日井市内の高校生のボランティアに依頼をして運営などのサポートをしていただいております。 【㉕ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画等に記載しているか。】 ・ やむを得ない身体拘束を行う対象児童がいいため、現在は記載しておりません。 対象となる児童の利用や身体拘束が必要となる場面が生じる際はしっかりと説明を行い、記載させていただきます。 【㉖ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。】 ・ 食物アレルギーは保護者の方に確認をして対応しています。